

合格例

<試験官に関して>

外国人試験官：

若い小柄の女性。英語は大変聞きとりやすかった。はっきりしたややスロウペースの英語で質問され終始スマイルを絶やさず感じのよい印象を受けました。

通訳ガイド：

女性。ベテランガイドの印象。こちらの答えに積極的に相槌をうってくれて、こちらの緊張をときほごそうと気がつかっている様子がありありとわかった。英語も明快で聞き取りやすかった。

人物考査担当試験官：

女性。30代か。日本語で最後に質問があった。こちらは英語で答えてしまった。

<面接試験の実際>

インタビュー室に入り”Good afternoon.”と挨拶をし椅子の横に立っていると”Take a seat please”の声で”Thank you”と答え着席。3人の女性は正面が外国人試験官 向かって左側が通訳ガイド、右側が人物考査試験官の構成でした。

先ず、通訳ガイドから”What’s your name and where do you live?”の質問がありました。次に、外国人試験官が質問。「私は日本を始めて訪問する外国人ツーリストだと思って、どこに行ったらよいか観光地を推薦してください。」 京都、奈良を recommend すると答えました。特に奈良の法隆寺は世界最古の木造の仏寺であることその美しい Appearance を今も retain している事など話しました。さらに、The temple consists of a main hall ,three—story pagoda and corridor . “と答えた後 corridor?と独り言のようにつぶやいていましたので、説明しようと思いましたがあまく説明できず、龍頭蛇尾で終わった感じでした。

Native から2番目の質問。「あなたにとって、重要な日本の historical eventは何ですか。」想定外の質問だったので、historical event が何を意味するのかわからず、答えるのにちょっと時間を要しました。明治維新 (Meiji restoration) と答えるところを Meiji revolution と言ってしまい、通訳ガイドから”Meiji revolution ! と相槌 (のよように感じた) が入ったので、一応これで通しました。

”I think it’s the Meiji Revolution because it has made a gateway to the modern Japan.”

最後に、人物考査担当試験官から、日本語でどのようなツアーガイドになりたいか、との質問がありました。

”I’d like to contribute to mutual understanding and friendship between Japan and foreign countries.”と答えさらに日本は多くの文化遺産、歴史遺産に恵まれた国であるので、これらの場所に外国のお客様を案内してあげたい、という趣旨のことを英語でしゃべったつもりですが、うまく表現できず、どこまで理解してもらえたか自身がありません。

すべての質問が終了したので、thank you.とお礼を述べ、3人にそれぞれ軽く会釈をして退席しました。

<反省点、今後の課題、後輩へのアドバイス等>

自分としては、平常心で試験に臨んだつもりですが、やはり相当緊張し、上がってしまったようです。quick response と eye contact だけは、富士ガイドアカデミーの授業で毎度指摘されたことなので心がけていたつもりですが、quick response の方はまあまあとしても、eye contact の方は今一步でした。

反省や後悔することばかりで、結果についてはまったく自信がありませんが、やるだけの事は

やった、という満足感があります。どちらの結果がでるにせよ本番では実力以上の力を出せない、という当たり前の真実を実感いたしました。